

# 古文書解読A1 ～江戸時代の古文書に親しむ～

## 授業の目的と概要

「くずし字」と呼ばれる独特な字体で記された江戸時代の古文書について学び、その基礎的な解読能力を身に付ける。

古文書の画像をテキストとして、書かれている内容や解読の方法を説明する。あわせて、受講者が自ら古文書を読みこなすことができるようトレーニングを行う。

授業では古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。授業中で解読を行う箇所についてはあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて順番に解読文を板書し、教員が添削する。その上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の基礎的な解読能力を身に付ける。

## 授業の到達目標

江戸時代の古文書に記されている「くずし字」について、基礎的な解読能力を身に付ける。また古文書を読むことを通じて、江戸時代の歴史に対する理解を深め、歴史文化財の保存・活用や地域文化教育などに関する実践的な知識を得る。

担当教員

経済学部 青柳 周一 教授

開講曜限

木曜日 2限 (10:30~12:00)

開講日

4月 9、16、23、30日

5月 14、21、28日

6月 4、11、18、25日

7月 2、9、16、23日

会場

彦根キャンパス

受講形態

授業は対面で実施する。変更等ある場合は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。

『くずし字解読辞典 普及版』は、必ず購入すること。

### 【参考書】

『くずし字解読辞典 普及版』児玉幸多編、東京堂出版、1993。

### 【参考文献】

古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。図書館で閲覧するか、Japanknowledge Libでも検索できる。

## 教科書情報 (補足)